

◆ 3年生の心意気 ◆



短い夏休みが終わり、また生徒の皆さんが戻ってきた。この状況下、何事も無く過ごしてくれたことに感謝。もっとも3年生にとっては連日の課外で、それどころではなさそうだけれど…。

さて、これまで何度も触れてきたことだが、夏の甲子園、インターハイ、吹奏楽コンクール…それに繋がる予選大会が軒並み中止となってしまった中で、特に、この3年生にとっては、部活動の“しまい方”をどうするのか、とても悩ましいことだと思ってきた。

そんな中、水泳での3年生の頑張り、それから、これも再び登場の[K先生](#)から教えてもらった女子バスケットボール部の3年生の活躍がうれしかった。

水泳については、8月18日の「[藤高ニュース](#)」で紹介させてもらった。全国大会に繋がる活躍は、何とも清々しい。今後の結果が楽しみだ。

女子バスケットボール部については、2人の3年生がこの時期までしっかり出場するということで、初日の試合を見に行った。K先生の采配の元、途中の絶妙なメンバー交代を経つつも、全てのピリオドに出続けた。

3日間の大会の結果、見事地区予選を突破し、この地区の代表として10月の県大会にコマを進めることができた。後日、この2人が賞状を持参し校長室を訪ねてくれた。

このような状況であっても、この時期まで部活動ができることへの感謝の気持ちと、後輩への思いやりをひしひしと感じた。試合を見に行った日に、彼女たちの保護者の皆さんともお話をさせていただいたが、涙ぐんでおられたことを思い出した。いろいろな想いを感じておられたのだろう。

本人達は、「後輩達が頼ってくれている気がする」と言っていたけれど、ここまで一緒に活動してくれて、本当にうれしかったんじゃないかな…。10月まで一緒に活動してくれるのか、きっとその点がとても気になっているに違いない。

2人とも、これからの進路について、とても生き生きと語ってくれた。大丈夫、そのパワーと「心意気」があれば、きっと夢はかなうよ、と強く思った。